



もんだいけいしき ないよう
問題形式と内容

しつもん ほうこく いらい などの 短い文を聞いた後、すぐにそれに合う答え方を考えます。



さいしょ 最初に聞く文は次のようなものです。

- ・質問する、依頼する、申し出る、許可を求める
- ・何かについての意見・感想・主張を述べる、説明する
- ・謝る、お礼を言う、褒める、あいさつする

じつさい 実際に会話に参加しているつもりで、これらの文に対する返事を選びます。

さいしよ ぶん き 最初の文を聞くときは、つぎ ような 点 に注意して聞きます。

- だれが (話し手と聞き手のどちらが) それをするか
- その話題について話し手はどう思っているか
- その出来事は起こったか、起こっていないか

そのほか、会話でよく使われる表現やイントネーションに注意して聞くことが大切です。

1-A 「だれがするか」を聞き取る

つか 使われている表現に注意して、そのことを「だれがするか」を理解します。

練習 1-A

かいわ き 会話を聞いてください。男の人が女の人に話しています。だれがしますか。 A10

- 例 持っていく (男 ・ 女)
- (1) 注文する (男 ・ 女)
- (2) 話す (男 ・ 女)
- (3) 書き直す (男 ・ 女)
- (4) 使う (男 ・ 女)
- (5) どける (男 ・ 女)
- (6) 連絡する (男 ・ 女 ・ 事務の人)

1-B 「話し手はどう思っているか」を聞き取る

いけん ほうこく などの文を理解するときは、その話題について話し手がそうだとおもうか、違うとおもうかに注意します。意見を言うとき「～(ん)じゃない」がよく使われますが、これはイントネーションによって意味が変わるので、その違いを聞き分けなければなりません。

A11 例1 行ったんじゃない。／これじゃなかった。

例2 行ったんじゃない？／これじゃなかった？

例1は「行かなかった」「これではない」という否定の意味で、文末が下がります。例2は反対に「行った」「これだ」という肯定の意味で、文末が上がります。

「～んじゃない」はほかにも次のような形で使われることもあります。

- 彼じゃなかったんじゃないの? = 彼じゃなかったとおもう
- あっちじゃないかと思う。 = あっちだとおもう
- 断られたんじゃないかと思いますが。 = 断られたとおもう

練習 1-B

ぶん き 文を聞いてください。女の人の意見と合うのはどちらですか。 A12

- 例 (田中さんのだ) ・ 田中さんのではない)
- (1) (慎重だ) ・ 慎重ではない)
- (2) (送られてきた) ・ 送られてきていない)
- (3) (ご存じだ) ・ ご存じではない)
- (4) (入っている) ・ 入っていない)
- (5) (田中さんのだった) ・ 田中さんではなかった)
- (6) (取ってあった) ・ 取っていない)
- (7) (だまされた) ・ だまされていない)
- (8) (上手だった) ・ 上手ではなかった)
- (9) (山下さんだ) ・ 山下さんではない)
- (10) (集中していた) ・ 集中していなかった)

1-C 「起こったか、起こっていないか」に注意して聞く

意見、報告、感想を理解するときは、説明されている出来事が実際に起こったかどうかを考えることも大切です。特に、夕形が使われていても実際には起こっていないことを表す表現に気をつけます。

【実際に起こった】

- ・～なかったことにする 例 見なかったことにしよう。
- ・(辞書形) んじゃなかった 例 言うんじゃなかった。

【実際には起こっていない】

- ・～ば/～たら ～た(のに) 例 教えてくれれば見に行ったのに。
- ・～かと思つた 例 死ぬかと思つた。
- ・～んじゃないかと思つた 例 間に合わないんじゃないかと思つた。
- ・(辞書形) はずだった 例 来るはずだった。
- ・(辞書形) んだった 例 出しとくんだった。
- ・～ようと思ひながら/つつ 例 お知らせしようと思ひながら……。
- ・(た/ている)つもりで 例 行つたつもりで貯金しよう。
- ・(ていた)としたら 例 彼が生きていたとしたら、今は103歳だ。

練習 1-C

男の人の話を聞いて、実際はどちらか選んでください。A13

- 例 (行つた) ・ (行っていない)
- (1) (遅刻した) ・ (遅刻していない)
- (2) (伝えた) ・ (伝えていない)
- (3) (映画館で見ている) ・ (映画館で見っていない)
- (4) (知っている) ・ (知らない)
- (5) (手伝つた) ・ (手伝っていない)
- (6) (着てきた) ・ (着てきていない)
- (7) (忘れていた) ・ (忘れていない)
- (8) (聞いた) ・ (聞いていない)
- (9) (やつた) ・ (やっていない)
- (10) (そろえた) ・ (そろえていない)

1-D イントネーションに注意して聞く

同じ形でも、イントネーションによって意味が変わることがあります。言い方によって意味が変わるものには、次のようなものがあります。

- A14 例1 彼は社員じゃない。(=「社員ではない」と否定する)
- 例2 うまくいったじゃない!(=「うまくいった」という感動を伝える)
- 例3 あの、田中さんじゃない?(=「田中さんだ」ということを確認する)
- 例4 小林さんは、お酒飲むんじゃない?(=「飲むと思う」という意見を伝える)
- 例5 こら、人の物を勝手に触るんじゃない!(=「触るな」と禁止する)
- 例6 あの店、今日、休みなんじゃない?(=「休みだ」ということを確認する)
- 例7 こんな食べるんじゃない。(=「食べた」ことを後悔する)
- 例8 山本さん、あしたの練習、来ないって。(=「来ない」ことを報告する)
- 例9 今から行つても、絶対間に合わないって!(=「間に合わない」ことを主張する)

★ 例題 1-D

文を聞いてください。どちらですか。A15

- (1) (意見) ・ (禁止)
- (2) (意見) ・ (禁止)

答え (1)意見 (2)禁止

(1)は、文末を上げて、「～と思う」という意見を述べています。

(2)は、文末を下げて、「ない」を強く言っています。また「危ないから」という理由からも、禁止の表現であることが推測できます。

◆スクリプト

(1) 本田さん、9時ごろ来るんじゃない？

(2) 危ないから、こっちへ来るんじゃない！

練習 1-D

文を聞いてください。どれですか。

- (1) (主張 ・ 報告)
- (2) (主張 ・ 報告)
- (3) (確認 ・ 後悔 ・ 否定)
- (4) (確認 ・ 後悔 ・ 否定)
- (5) (確認 ・ 後悔 ・ 否定)
- (6) (確認 ・ 後悔 ・ 否定)
- (7) (意見 ・ 禁止 ・ 感動)
- (8) (確認 ・ 禁止 ・ 感動)
- (9) (確認 ・ 否定 ・ 感動)
- (10) (意見 ・ 禁止 ・ 感動)

1-E 会話でよく使われる表現に注意して聞く

会話でよく使われる次のような表現に注意します。意見や感想などの場合は、驚きや不満など話し手の伝えたい気持ちにも注意して聞きます。

機能	表現	例文
提案	～たら？／～ば？	こちらの色にしたら？ (=したらどうですか)
主張	～ことない	心配することないよ。(=心配しなくてもいい)
	～っこない	全部なんて、できっこないよ！ (=できるわけがない)
意見	～って(ば)	何度も言わなくても、わかってるってば。(=わかってるよ)
	～ことは～	レポートは書くことは書いた。(=十分ではないが一応書いた)
感想	～には～	免許はあるにはあるけど、運転してない。(=一応ある)
	～といたらない	恐ろしさ ^{おそ} といたらない ^な かった。(=とても恐ろしかった)
報告	～つたらない	難しい ^{むずか} つたらない ^よ 。(=とても難しい)
	～なんてもんじゃない	高い ^{たか} なんてもんじゃない ^よ 。(=とても高い)
	～のなんのって	人が多 ^{おほ} かった ^の なんの ^{って} 。(=とても多 ^{おほ} かった)
	なん ^{ふゆ} と ^い つた ^つ て	冬はなん ^{ふゆ} と ^い つた ^つ てスキー ^が いい ^よ 。(=何 ^{なに} よりも)
愚痴	～じゃあるまいし	子供 ^{こども} じゃあるまいし、ちゃんとしてよ。(=子供 ^{こども} ではないのだから)
	～つたら	子供 ^{こども} たち ^つ たら、散 ^ち らかして ^ば つかり！ (=子供 ^{こども} たちは)
不満	～ときたら	最近 ^{さいきん} の若い ^{わか} 人 ^{ひと} ときたら、まったく。(=若い ^{わか} 人は)
	～つばなし	電気 ^{でんき} はつけ ^つ ばなし、服 ^{ふく} は脱 ^ぬ ぎ ^つ ばなし。(=つけたまま、脱 ^ぬ いだまま)
	～にならない	主張 ^{しやうちやう} が違 ^{ちが} いすぎて、話 ^{はなし} にならない。(=話 ^{はなし} が成 ^{せいりつ} 立 ^{りつ} しない)
	なんてことを	なんて ^{たいてん} ことを ^を して ^し まった ^{んだ} ！ (=大 ^{たい} 変 ^{へん} なことを)
	まったく	また ^{また} 忘れ ^{わす} れ物 ^{もの} ？ まったく ^ま あなた ^あ つたら。(=本 ^{ほん} 当 ^{とう} に)

例題 1-E

文を聞いて、それに対する返事の文を聞き、よい方を選んでください。

- (a b)



答え a

「田中ったら」は不満を述べる強調表現で、「まったく」というのは愚痴や不満を言うときによく使われる表現です。ですから、相手の不満に同調するaの方が適切です。

◆スクリプト

男：まったく、こんなときに田中ったら。

女：a ほんと、困ったね。

b ほんと、助かるね。

練習 1-E

文を聞いて、それに対する返事の文を聞き、よい方を選んでください。

- (1) (a b)
- (2) (a b)
- (3) (a b)
- (4) (a b)
- (5) (a b)
- (6) (a b)

2 返事の文を考える



次に返事の文について考えます。会話での答え方には、直接的な答え方と間接的な答え方があります。次の例を見てください。(3)はどんな意味でしょうか。

- 例 男：あした、映画見に行かない？ 誘い
- 女：(1)うん、行こう。 受け
- (2)ごめん、行けない。 断り
- (3)あさって、試験なんだよね。 ?

男の人は女の人を映画に行かないかと誘っているのですが、女の方は(1)や(2)のように、行くか行かないかを答えるのが基本です。しかし、(3)では、質問とは直接関係のなさそうな「あさっての試験」について述べています。

これは、「あさって試験がある」という状況を述べて「そのため、あした勉強しなければならぬから、映画に行く時間がない」ということを相手に想像させ、それによって間接的に断っているのです。

このように断りや反論など相手にとって残念な答えの場合には、特に間接的な答え方が多く使われます。

間接的な答え方の場合、肯定的な答えでは、「～ね」「～よね」を使って共感を示したり、関連する情報を積極的に加えたり尋ねたりすることがよくあります。一方、否定的な答えでは、「～んだ／～の」などを使ってできない状況を説明することが多いです。

【間接的な答えの例】○…肯定的(同意や受けなど) ×…否定的(不同意や断りなど)


- A：ちょっと手伝ってもらえませんか。
 B：何をすればいいですか。(○)
 B：これ、今日中に出さないといけないんです。(×)
- A：これ、使わせてもらってもいい？
 B：使い方、わかるよね。(○)
 B：向こうに同じのがもう1つあるよ。(×)
- A：この仕事、ぜひお願いしたいんですが。
 B：いいチャンスだと思って頑張ります。(○)
 B：あの一、自信ないんです。(×)



また、誘いや依頼に対して答えるとき、次のような表現が使われることもあります。

受け	断り
ちょうどよかった まかせてよ 喜んで	あいにく ～かねます ちょっと考えさせてください

練習2

会話を聞いてください。女の人の返事が「同意や受け」など肯定的なら○、「不同意や断り」など否定的なら×を選んでください。 

例 (○ ・ ⊗)

- (1) (○ ・ ×) (2) (○ ・ ×)
 (3) (○ ・ ×) (4) (○ ・ ×)
 (5) (○ ・ ×) (6) (○ ・ ×)

確認問題



まず文を聞いてください。それから、それに対する返事を聞いて、1から3の中から、最もよいものを一つ選んでください。

- (1)

1	2	3
---	---	---
- (2)

1	2	3
---	---	---
- (3)

1	2	3
---	---	---
- (4)

1	2	3
---	---	---

III 「課題理解」のスキルを学ぶ



問題形式と内容

まとまりのある話から指示や助言などを聞き取り、これからすべきことを理解します。選択肢は文字またはイラストで問題用紙に印刷されているので、それを見ながら話を聞きます。



→ 問題用紙にある選択肢から答えを選ぶ

N1の課題理解問題では、日常的な場面に加えて、仕事や研究の場面などで、自分のすべきことを理解します。例えば、次のような質問の答えを考えます。

- 例1 先生が話しています。学生は発表の前に何を準備しなければなりませんか。
 例2 女の人が上司と話しています。女の人はず何をしますか。